

【戸田市】地域包括ケアシステムの推進に向けた今年度の取組について

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには～

目的

地域包括ケアシステム実現に向けた手段の一つとして、高齢者に対する支援の充実とともに、それを支える社会基盤の整備を行う。

内容

高齢者の抱える問題から見えてくる「地域の課題の把握」「人と人とのつながり(ネットワーク)の確立と充実」「自分たちの地域でできることは何か」「あったらいいなあと思われる資源」など、各分野の関係機関等と一緒に考え、よりよい方法を検討する。

会議の種類等

随時開催

1

会議名: 地域ケア個別会議

主 催: 各圏域の地域包括支援センター

内 容: 個別ケースの課題解決に向けた検討・地域課題の発見・地域のネットワークづくり

参加者: 会議の内容にあった関係者、専門職等

例) ご本人やご家族、介護支援専門員、医療介護福祉サービス関係者、民生委員、近隣住民、町内会、商店街、行政職員等

2

会議名: 地域ケア圏域会議 (地域ケア推進会議)

主 催: 各圏域の地域包括支援センター

内 容: 圏域内関係機関のネットワークづくり・地域での新たな資源づくり

参加者: 町内会役員、地区民生委員、圏域の医療・介護関係職員、社会福祉協議会、行政職員等

年2回程度開催

3

会議名: 自立支援型地域ケア会議

主 催: 市

内 容: 多職種が連携して、高齢者の自立に資するケアプラン作成を支援

参加者: 歯科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、看護師、ケアマネジャー等

年4回開催

4

会議名: 生活支援・介護予防体制推進協議会

主催: 市

内容: 生活支援コーディネーターとともに地域資源の開発や調整

参加者: 地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、民生委員、シルバー人材センター、商工会等

随時開催

